

第23回（平成22年度）
大分県医師会・大分県臨床検査技師会
精度管理調査

病理・細胞診検査
フォトサーベイ結果

大分県臨床検査技師会
精度管理解析委員会委員
平丸 正宣

●参加施設

2006 (19回)	2007 (20回)	2008 (21回)	2009 (22回)	2010 (23回)
26	26	25	25	25

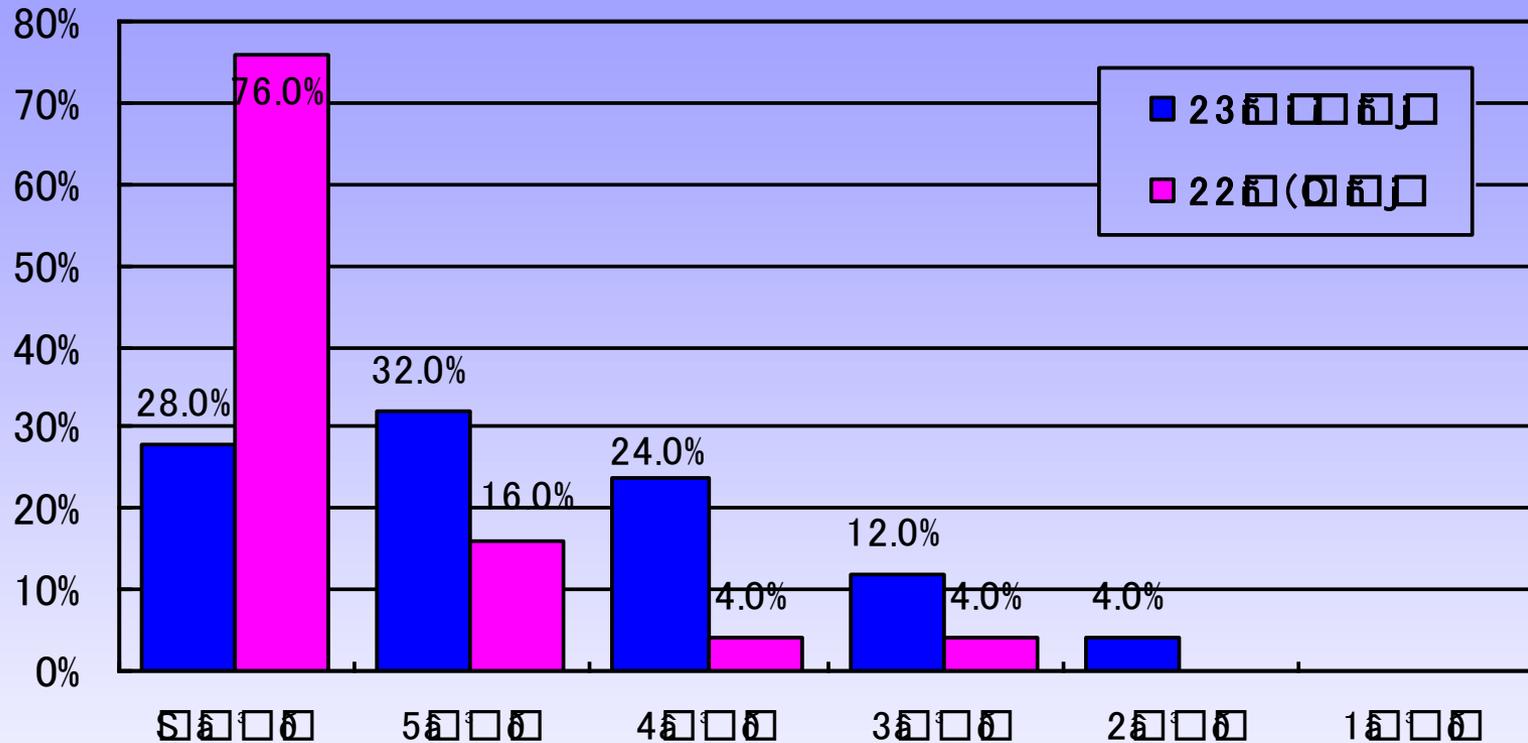
●回答者内訳

	施設数	割合	正解率
細胞検査士	20	80.0%	81.7%
臨床検査技師	5	20.0%	63.3%

●経験年数内訳

	施設数	割合	正解率
1年未満	1	4.0%	50.0%
2～4年	2	8.0%	75.0%
5～9年	7	28.0%	73.8%
10年以上	15	60.0%	82.2%

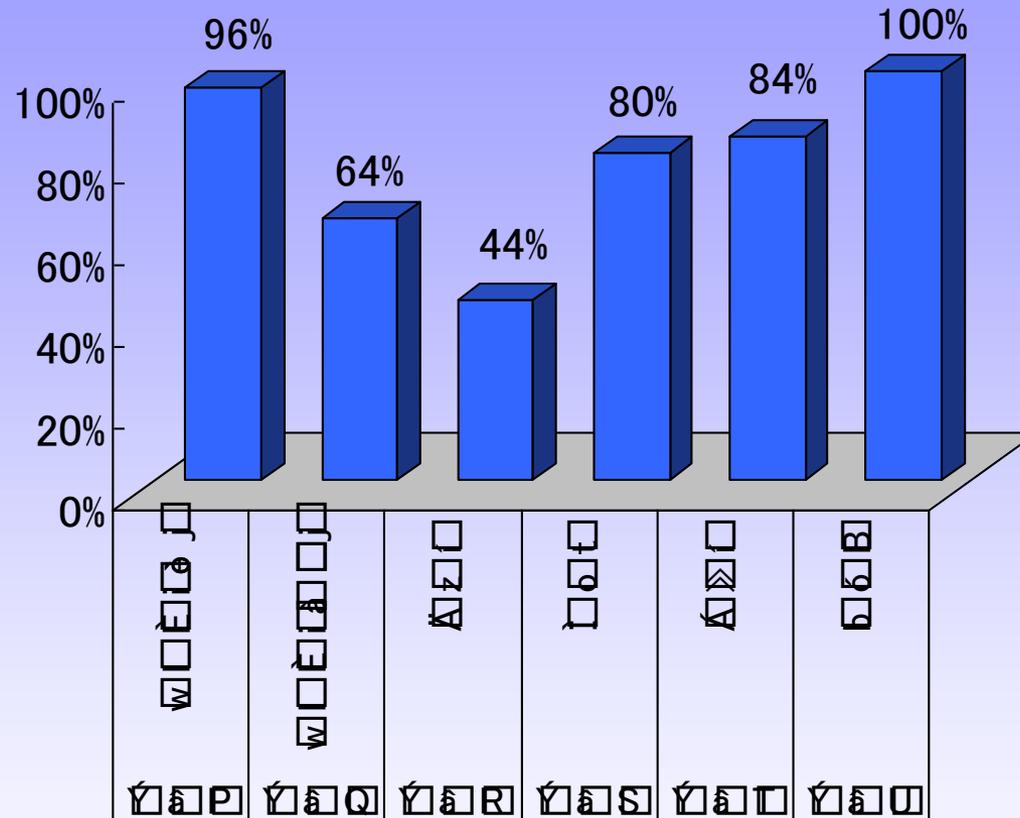
施設別正解率



- 5問正解、全問正解、4問正解の順で高い。(全体の84%)
- 目標正解率80%以上(5問以上正解)施設は、15/25(60%)

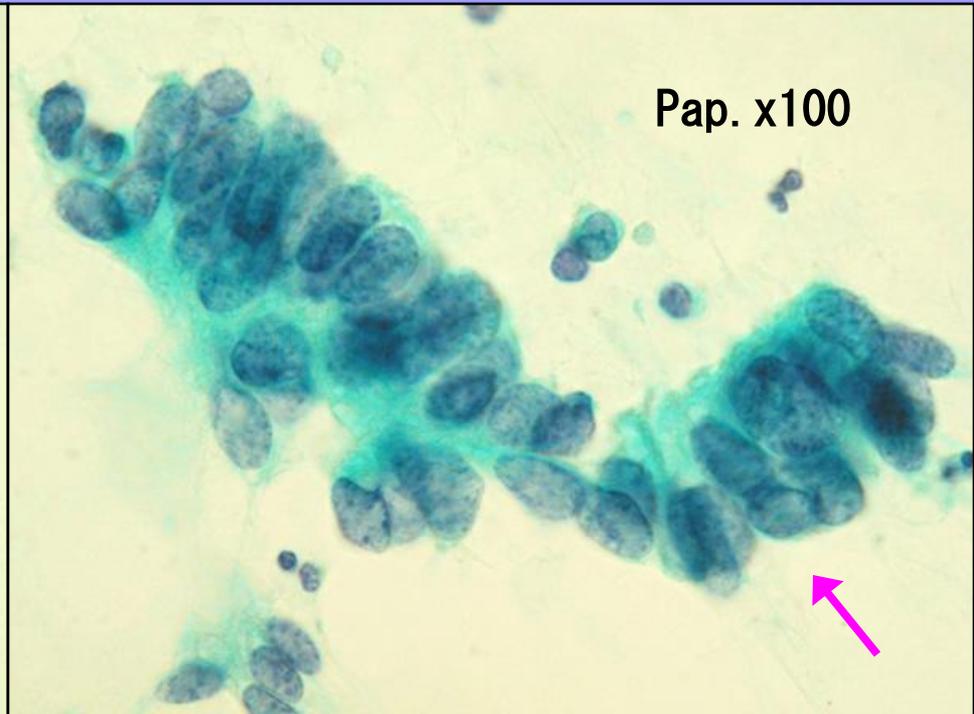
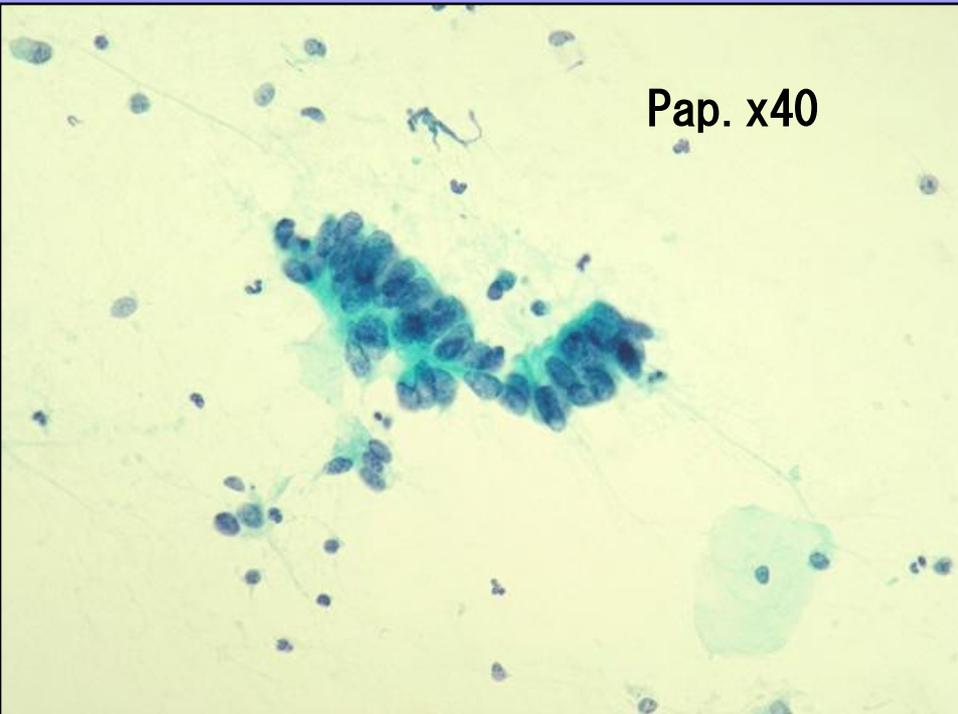
(前回から32ポイント低下)

設問別正解率



- のべ正解率は78.0%（前回の94%から**16ポイント低下**）
- 婦人科（内膜）、呼吸器領域の正解率低い

設問 1 : 34歳女性、子宮頸部ブラシ擦過、不正出血、びらん



鑑別のpoint

核形はだ円形で柵状配列、核の重層性、
羽毛状構造（矢印）

出題の意図

AISの細胞像確認、ベセスダシステムに
おける腺系病変の判定

内頸部上皮内腺癌
(AIS)

24

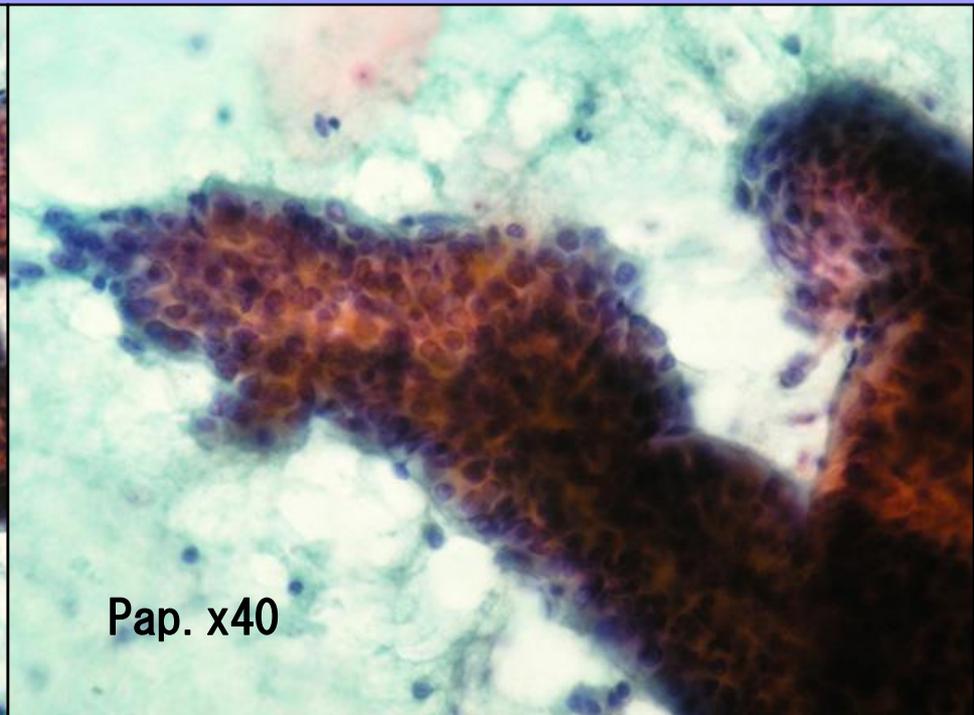
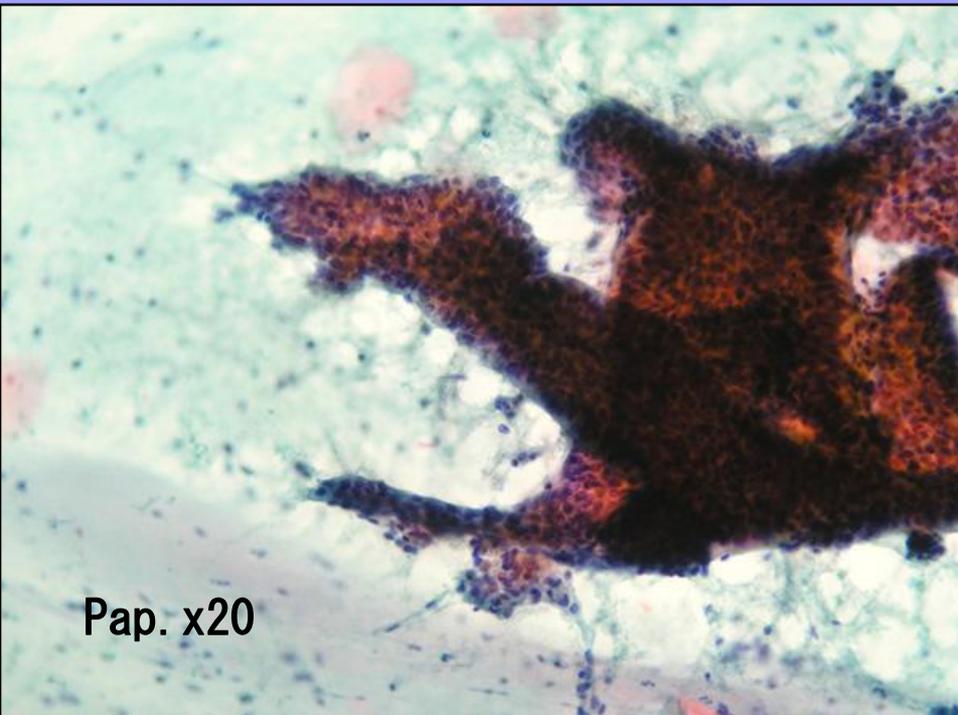
96.0%

特定不能な異型内頸
部腺細胞 (AGC-NOS)

1

4.0%

設問 2 : 45 歳女性、子宮内膜エンドサイト、不正性器出血、内膜肥厚あり



鑑別のpoint

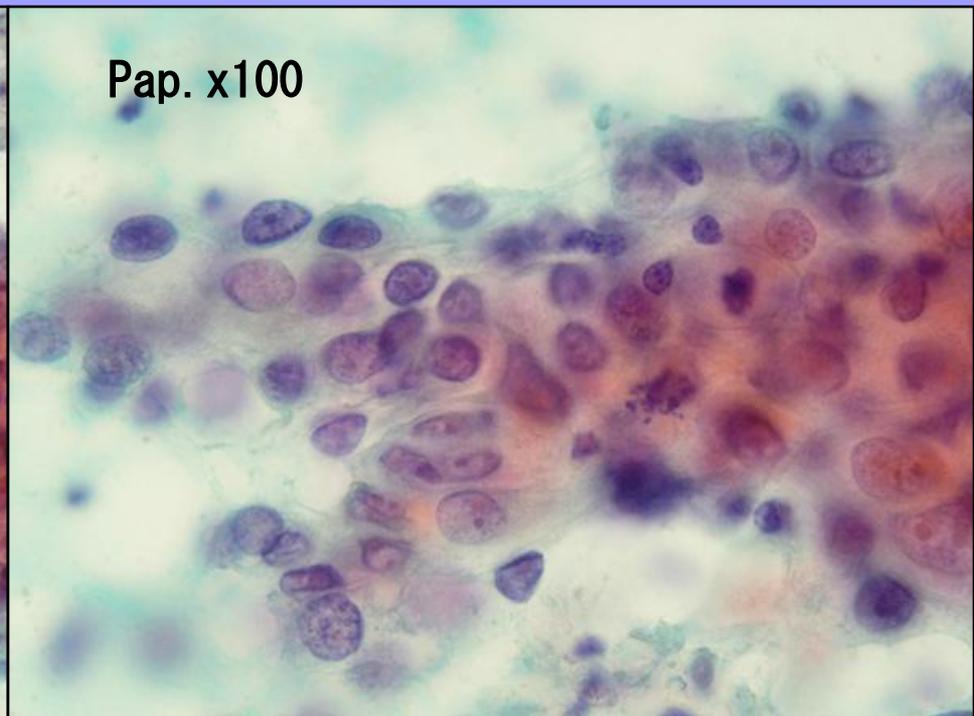
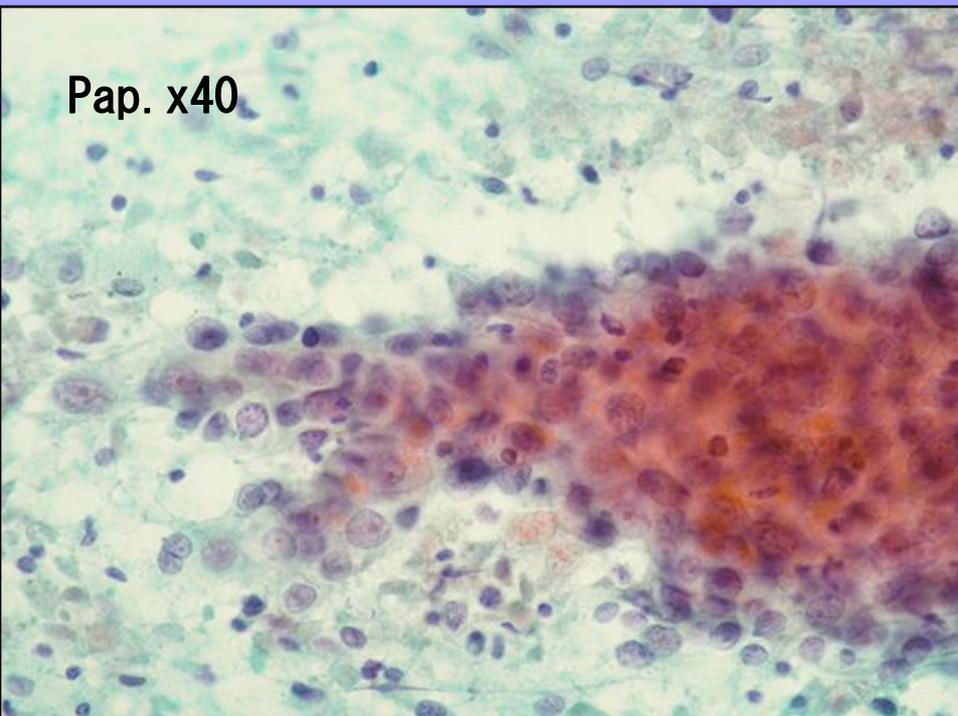
1 ~ 2 次分岐の集塊、集塊の幅は不均一、
集塊辺縁比較的シャープ

出題の意図

類内膜腺癌 (G1) との鑑別

増殖期子宮内膜	2	8.0%
複雑型子宮内膜 増殖症	16	64.0%
類内膜腺癌 (G1)	7	28.0%

設問3：61歳男性、気管支生検捺印、左下葉にtumor



鑑別のpoint

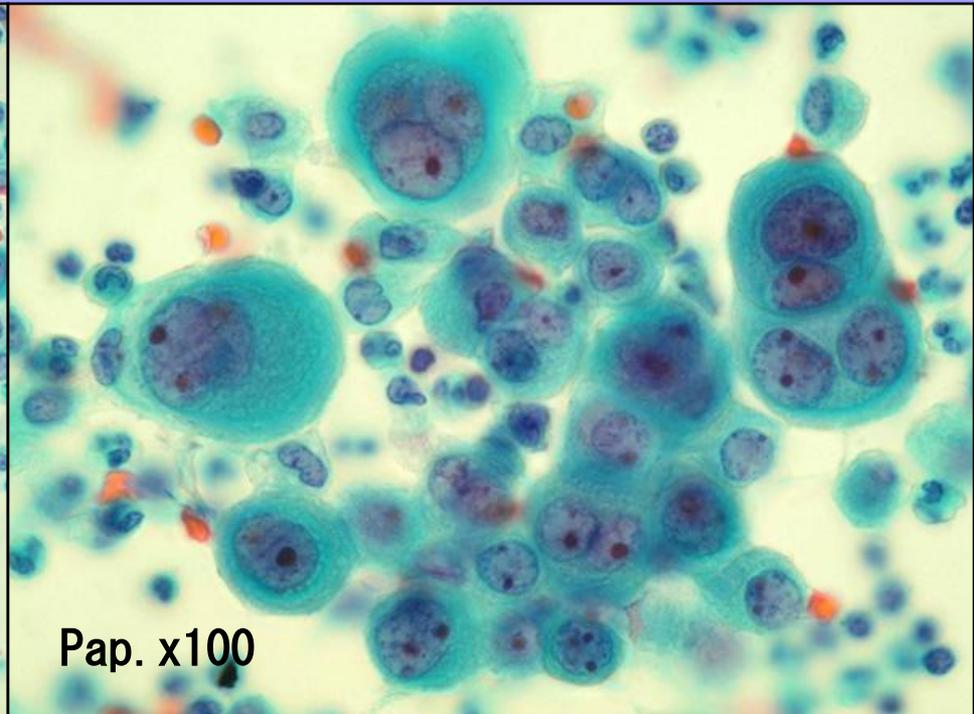
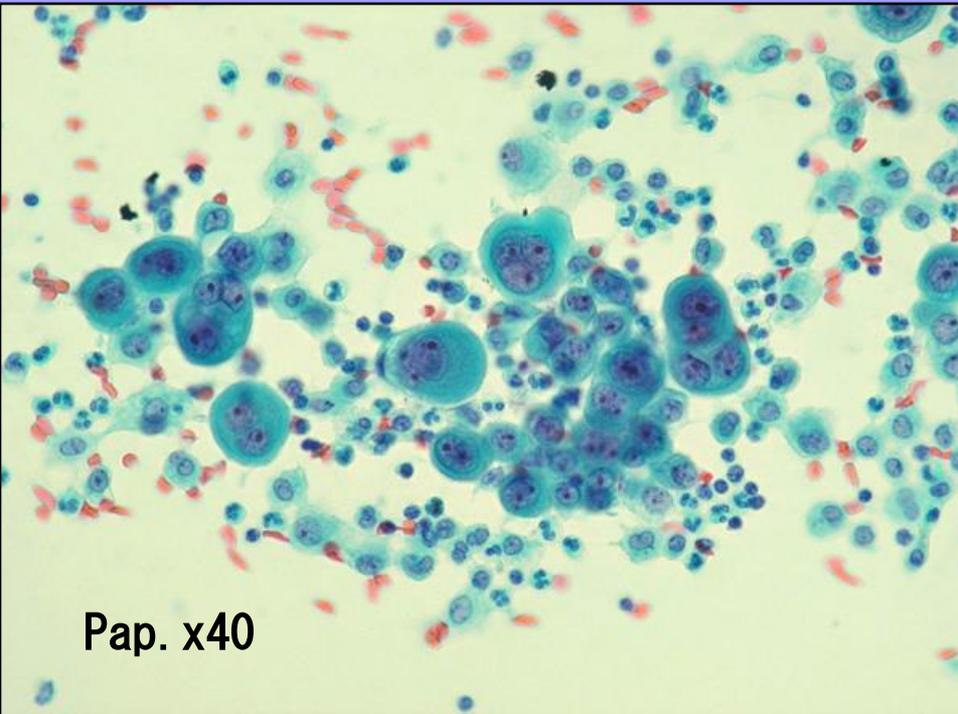
重積性集塊、核形は楕円形主体、核小体やや不整形でクロマチン一体型

出題の意図

低分化型の腺癌と扁平上皮癌の鑑別
(喀痰でない呼吸器材料＝新鮮材料)

腺癌（低分化）	14	56.0%
扁平上皮癌 （低分化）	11	44.0%

設問4：68歳男性、胸水、胸水貯留



鑑別のpoint

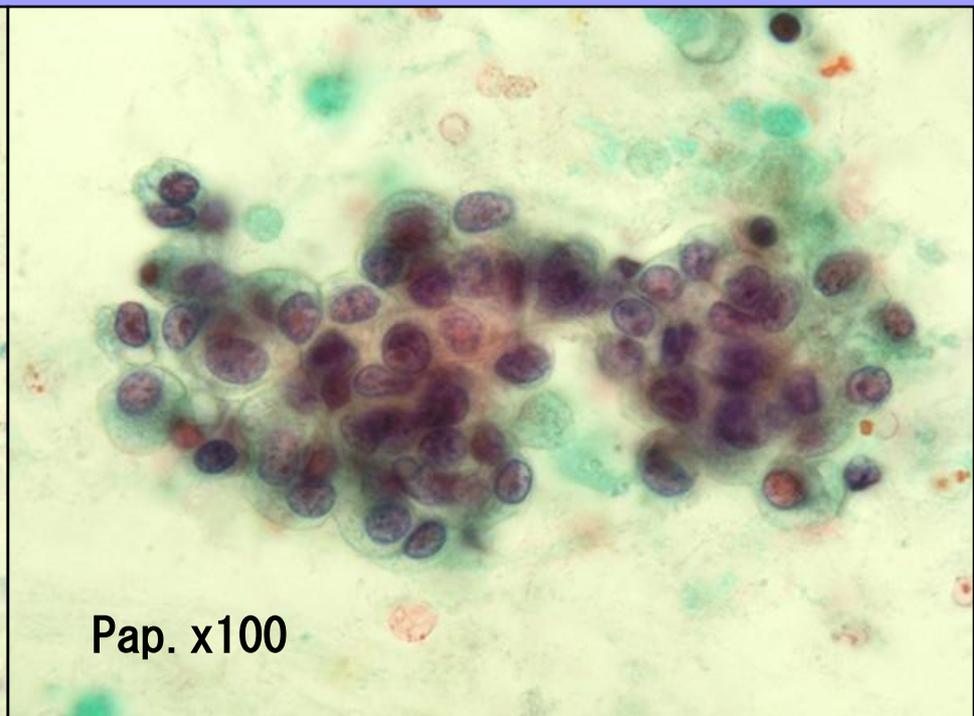
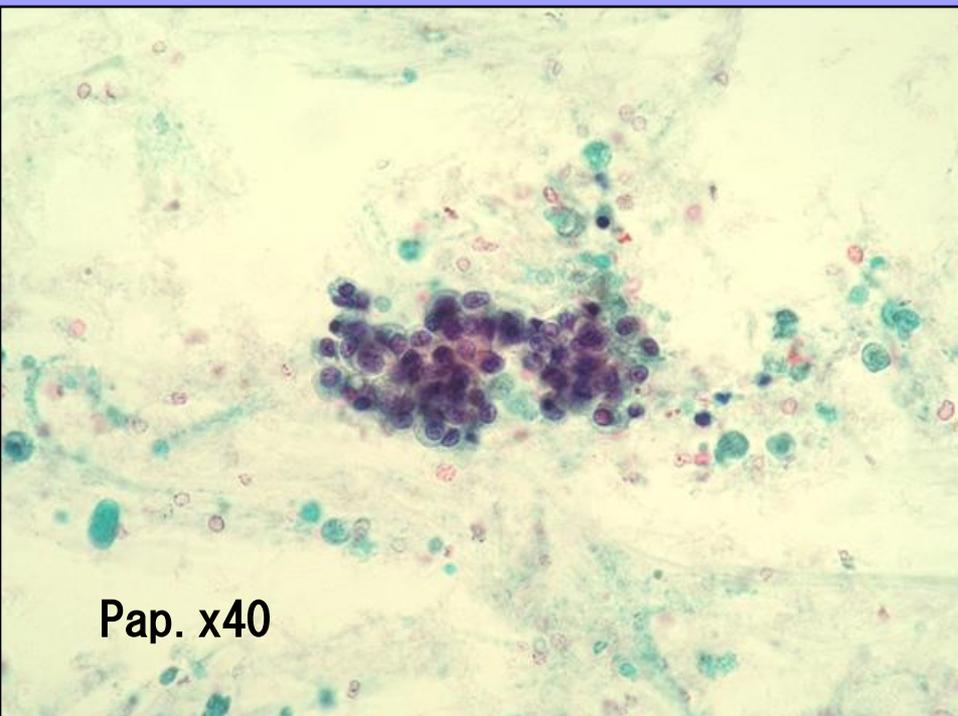
細胞の辺縁と核の位置（中皮細胞由来）、クロマチンの性状、腫大した核小体、多核形成

出題の意図

反応性中皮細胞と悪性中皮腫の鑑別

反応性中皮細胞	3	12.0%
扁平上皮癌	2	8.0%
悪性中皮腫	20	80.0%

設問5：70歳女性、胆嚢（PTCDにて得られた胆汁）、胆石症、高血圧



鑑別のpoint

集塊辺縁は不明瞭、核の位置不規則、オイクロマチン増量、腫大した好酸性核小体

出題の意図

良性異型と高分化腺癌の鑑別

胆石症にともなう良性異型細胞	2	8.0%
腺癌（高分化）	21	84.0%
腺癌（低分化）	2	8.0%

【まとめ】

- 経験年数別では、前回と同様の分布であったが臨床検査技師の回答が前回より増えた。
- 平均正解率が78%と前回に比べ、大きく低下した。原因は子宮内膜と呼吸器領域であった。

形態検査部門では細胞診講習会を行っており、さらに他部門と合同研修会も行っています。呼吸器領域では喀痰以外の材料で正解率が低くなる傾向があるように思われます。今後研修会等の機会を利用して対策を検討します。